

育じい&育ばあ対談 第2の子育てを楽しんでいます ずっと一緒派



Wさん

1歳の孫(男の子)が週5日、7時半～15時半まで通っている。



Aさん

2歳の孫(男の子)を週5日、娘さんの自宅に泊まりながら面倒を見ている。



Iさん

3歳の孫(男の子)が週5日、7～19時まで通っている。

な保育園に行っていたりするし。
W／今は支援センターが増えているから、まじいと思うけど、本当に近所に子どもがいま
 せんね。
I／幼稚園の準備じゃないけど、子ども
 同士の接点が一番大事だと思っただけです。
 家庭ではお嫁さんが全て任せてくれていて、
 お互いに信頼し合っているし、特に違いや
 違和感を感じることはないです。自分の子
 どもの時よりも大らかに子育てできている
 ので幸せですよ。
W／食事面で言えば、自分の子どもの時は
 生後2～3カ月で湯冷ましや果汁を薄めた
 ものをあげてましたけど、今はタメなん
 ですね。昔はスプーンで口移しとかもして
 いたのに「今はタメなのよ」と友だちから教
 えてもらいました。
**作製／育児に関する情報はどこから入手
 していますか？**
W／同じころに孫ができた友だちが何人か
 いるので、そういう人たちから教えてもら
 うことが多いですね。あとは、図書館の育
 児雑誌を借りてきて読んでいたりして
A／私はいっぱいインターネットで調べて
 います。娘や孫の食事も作っているの
 し、レシピもインターネットを活用して
W／今は育児に関しての情報が多いです
 ね。

孫との生活、いかがですか？

**作製委員(以下 作製)／お孫さんとはどう
過していますか？大変なことや困っている
ことはありますか？**

Aさん(以下 A)／義理の息子が単身赴任
で不在なので、普段は娘と孫との3人暮らし
のようなものです。娘と孫の食事の用意な
ど、全部しています。今はこれが生活の一
部分なので、つらいとか面倒くさいと
かは感じていません。

Iさん(以下 I)／今見ている孫は3人目で、
長い時間一緒にいるのは初めて。特に手が
掛かるわけではないのですが、おとなしく
てちょっと心配です。支援センターにも通
っていますが、車の免許がなくて天気が悪い
日はなかなか…。近所に子どもがいない
ので、友だちづくりと健康のためにベビ
ースイミングに通っています。

Wさん(以下 W)／皆さんに比べると見て
いる時間が短いですが、今は孫との時間が
楽しいです。支援センターや幼児ルームな
どに行きますが、市内の支援センターは駐
車場が有料だったり、ないところも多いの
でちょっと困りますね。
**作製／支援センターなどでは、他のお母さ
んたちと交流したりしますか？**
I／おばあちゃんは私一人だけだったりし
ますが、何とか輪に入ったりしてました。



子育て中のパパ&ママに メッセージ

**作製／現在子育て中のパパ&ママにメッ
セージをお願いします。**

W／子どもは一人一人違うから、焦らなくて
も全然大丈夫ですよと言いたいですね。

A／そうですね。うちの娘が孫の「おむ
つ外れ」を気にしていて、昔は布おむつだっ
たから早かったけど、今は紙おむつだから
孫も不快感を感じないんでしょうね。

W／おむつなんて小学生までにみんな外れ
ますからね。

A／だから何事も、あんまり心配しなくて
大丈夫と言いたいですね。

I／兄弟がいる・いないでは、やはり違う
のかなと思います。兄弟げんかをしている
お子さんを見ると、お母さんが忙しくて不
満があるのかな？甘えたいのかな？と思っ
てしまいます。子どものこと以外でも、自
分のこと、ご主人のことなど大変かもしれ

A／おばあちゃんは時々見かけますが、お
じいちゃんはほとんどいませぬね。食事が
できるスペースがあれば、お話もできるん
ですけど……。



昔の子育てと今の子育て 違いはあるの？

**作製／ご自身の子育てと今の子育てで違
いはありますか？**

I／今は外で遊んでいる子どもが本当に
少ないですよ。昔は近所にたくさん子
どもがいて一緒に遊ばせたりしていたけど、
今は働いている人が多くて、子どもはみん

ないけれど、もう少し余裕をもって、大
らかに子育てしてほしいなと思います。

W／時間の余裕のなさが心の余裕のなさに
もつながると思うので、一時預かりなどを
もっと利用してもいいんじゃないかなと思
います。喫茶店に行ってみるとお茶する
だけでも気分転換になると思います。

A／自分の時と比べて、職場環境をはじ
め社会全体の余裕がなくなってきたと思
います。なので、そんな環境で子育てし
ているお父さん・お母さんは大変だなと
みんな、本当にかんばっているよって褒め
てあげたいですね。

取材を終えて

作製委員 長 矢野
親の役割を全うしたおじいちゃん・おばあちゃん
の子どもをそのまま受け入れる」という接
し方に感動しました。

作製委員 西田

私たちが同じように家事や育児をしているおじ
いちゃん・おばあちゃんの話聞いて、余裕を
もって子どもに接することが大切だと実感しま
した。

作製委員 長谷川

「大変なこと何もない」と言っているおじいちゃん・
おばあちゃんたちが、とても優しく成長している
お孫さんたちを見て、その言葉はうそじゃない
と実感しました。